

Japan Art History Society The 78th General Assembly 2025

第78回 美術史学会全国大会

2025	研究発表	総会・講演会・懇親会	研究発表
5	23 金	24 土	25 日

大阪大学 豊中キャンパス（オンライン同時配信あり）

第78回美術史学会全国大会実行委員会

〒560-8532 豊中市待兼山町1-5
大阪大学大学院人文学研究科・美術史研究室内
Email: handai.ah2025@gmail.com
FAX 06-6850-5121
大会ウェブサイト <https://jahs78osaka.studio.site>



大会参加申し込み、総会委任状の提出は、ウェブサイトから行ってください。
オンラインでの申し込み・支払いなどが難しい場合は、大会実行委員会までご連絡ください。

当番校からのお知らせとお願い

1. 開催方式（ハイフレックス方式）について

第78回大会は、大阪大学豊中キャンパスを会場として対面で開催します。全日程をオンラインでも配信します。オンラインで参加される会員のみなさまには、チャットなどを使ったテキスト方式で質疑応答に加わっていただきます。運営には万全を期しますが、不測の事態により通信などに支障が生じる可能性もございます。あらかじめご了解くださいますようお願い申し上げます。なお、最新の情報は大会ウェブサイトにて随時ご案内いたします。

2. 参加申込・参加費の支払い ★5月7日（水）締め切り

参加申し込みおよび参加費の支払いは、大会ウェブサイトから行ってください。大会の円滑な運営のために、対面参加の場合も事前の申し込みをお願いします。懇親会、お弁当、総会委任状の手続きも同時に行うことができます。

参加費などのお支払いは、大会ウェブサイト上にリンクしたオンライン決済システムPayventからお願いします。ゆうちょ払込票を使った方法ではありません。参加費の支払いをもって、参加申し込みの完了とさせていただきます。オンラインでの申し込み・支払いが難しい場合は、大会実行委員会までご連絡ください。お支払いには、クレジットカード、銀行振り込みをご選択いただけます。銀行振り込みの場合、登録に反映されるまで数日かかる場合がございます。期日まで余裕をもったお支払いをお願いします。（なお、大会前日の5月22日（木）開催の常任委員会で入会が認められた新入会員については、参加費をいただきません）

大会参加費（事前）	1,000円（当日3,000円）
懇親会費（事前）	5,000円（学生4,000円）
お弁当の注文	1,080円／1個

※対面で参加の場合は、Payventから送られる登録確認のメールを印刷してご持参いただくか、スマートフォン上で表示できるようにしてください。



<https://jahs78osaka.studio.site/>

3. 総会委任状 ★5月19日（月）締め切り

総会は全学会員の5分の1の出席によって成立します。総会を欠席する会員は、美術史学会規約第6条に則り、委任状により参加できます。委任状の提出も、大会ウェブサイトから行えます。総会に参加できない場合も、委任状の提出を忘れずにお願いします。オンラインでの委任状提出が難しい場合は、大会実行委員会までご連絡ください。

4. オンラインでの配信と参加方法

オンラインでの配信には、Zoomウェビナーを利用する予定です。事前申し込み・参加費の支払いを行った会員には、開催の数日前にウェビナー情報をメールでお知らせします。本大会では、オンラインのみの参加も有料となります。前日になってもウェビナー情報が届かない場合は、大会実行委員会までお問い合わせください。

5. 参加申込の締め切り日（5月7日）以降の扱い

対面で参加の場合、3000円の参加費にて当日現地でも受付を行います。ただし、懇親会の参加やお弁当の注文はできない場合もあります。それ以外のケースについては、5月7日以降にウェブサイト上でご案内をする予定ですが、大会運営上ご希望に添った対応ができないこともあります。重ねて、締め切り日までの参加申し込みをお願い申し上げます。

6. 出張依頼状 ★4月25日（金）締め切り（必着）

所属機関長への出張依頼状が必要な場合は、機関名・所在地・機関長名を明記の上、右記の美術史学会本部事務局へお申し込みください。

※大会実行委員会ではありません。

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8
東京藝術大学美術学部芸術学科 気付
美術史学会本部事務局
Email: gakkai-east@gmail.com

7. 宿泊

大会実行委員会では宿泊の斡旋は行っておりません。各自でご手配ください。会場となる豊中キャンパス近隣に宿泊施設はわずかしかありません。アクセスのよい梅田駅周辺や、新大阪駅周辺には多くの宿泊施設がありますが、大阪万博などの影響で混雑が予想されます。早めの予約をお勧めします。

8. 昼食

23日（金）、24日（土）はキャンパス内の生協食堂、コンビニなどが利用できます。25日（日）は、学内の食堂、コンビニは閉店しています。飲食店のある阪急石橋阪大前駅周辺までは徒歩にて15分程度かかります。25日（日）のみ、お弁当を用意します。ご希望の方は、事前参加申し込みの際にご注文ください。

大阪大学 豊中キャンパス

阪急宝塚線・石橋阪大前より徒歩約15分(上り坂)、大阪モノレール・柴原阪大前駅より徒歩約10分。

(1) JR 新大阪駅よりお越しの場合

- ・地下鉄～北大阪急行(直通運転)で千里中央駅へ(15分弱)。
- ・千里中央駅で大阪モノレール(大阪空港行き)に乗り換え、柴原阪大前駅下車(2駅5分)。
- ・在来線(神戸線・東海道線下り)でJR大阪駅へ行き(15・16番線ホームから出るすべての電車が1駅で大阪駅に停車)、下記(2)の経路で。

タクシーで30分程度。上記(1)の千里中央駅からのタクシーは15分程度。

(2) JR 大阪駅よりお越しの場合

北側に隣接する阪急梅田駅より阪急宝塚線乗車(普通でも急行でも可。急行は約16分、普通は約23分)、石橋阪大前駅下車(駅からタクシーご利用の場合、石橋阪大前は台数が非常に限られます。やはり台数は限られますが、梅田寄り一駅前の蛸池、または二駅前の豊中駅からの乗車、あるいは配車アプリなどの使用をお勧めします)。

(3) 大阪国際空港(伊丹空港)よりお越しの場合

- ・大阪モノレールに乗車し、柴原阪大前駅で下車(2駅6分程度)。
- タクシーで10分程度。

受付＝大阪大学会館

(名札などはこちらでお受け取りください)

- ・23日(金)・25日(日)

研究発表【分科会Ⅰ】＝大阪大学会館

【分科会Ⅱ】＝シグマホール(基礎工学国際棟)

- ・24日(土)

総会／『美術史』論文賞表彰式／講演会＝大阪大学会館

懇親会＝カフェテリア「らふおれ」

阪急 石橋阪大前駅

Ishibashi handai-mae (Hankyu Line)

石橋門

Ishibashi Gate

大阪大学会館

Osaka University Hall

カフェテリア らふおれ

Cafeteria (La Loret)

シグマホール

Sigma Hall

正門

Main Gate

大阪大学会館とシグマホールは、歩いて約7分の距離です。

大阪モノレール 柴原阪大前駅

Shibahara-handai-mae (Monorail)

5 | 金 | 23

[初日プログラム]

★受付9:30～ 大阪大学会館

研究発表

*発表要旨集および配付資料は大会ウェブサイトから必ず事前にダウンロードください。会場のWi-Fi環境には制約があるため、会場内でのダウンロードは不可とさせていただきます。

分科会Ⅰ

会場：大阪大学会館・講堂

時間	発表題目	氏名	所属
10:00-10:40	法隆寺・四騎獅子狩文錦の文様と制作背景について —中国在住ソグド人の造形表現をめぐって—	ブヤチコバー、アリサ Alica Bujackova	大阪大学
10:40-11:20	西大寺所蔵金銅透彫舍利容器小考 —図像と儀礼を中心に—	森 香乃	大阪大学
11:20-12:00	「名物・骨喰藤四郎」の刀身彫刻と備前国長船派の 俱利伽羅龍文図像の比較	小野寺 大耀	奈良大学
昼休み			
13:10-13:50	不動明王にみる彫像と図像の交感 —正智院不動明王坐像を起点として—	藤岡 穰	大阪大学
13:50-14:30	松尾大社三神像の制作背景についての一考察	飯村 建成	早稲田大学
14:30-15:10	唐招提寺伝来霊樹寺蔵釈迦如来坐像について —奈良における平安時代中期彫刻の展開—	阿久津 武大	奈良大学
休憩			
15:30-16:10	仁和寺所蔵愛染明王坐像に関する一考察 —十二世紀前半における仁和寺と院政期—	荒井 優希	早稲田大学
16:10-16:50	行快による快慶様式の継承と展開 —安阿弥様を中心に—	坂田 将馬	青山学院大学
16:50-17:30	「当麻曼荼羅縁起絵巻」(光明寺蔵)の構成と特徴 —建築描写の再検討を通じて—	野中 愛理	東京国立博物館

分科会Ⅱ

会場：シグマホール（基礎工学国際棟）

時間	発表題目	氏名	所属
10:00-10:40	鑑画会時代の狩野芳崖・橋本雅邦の山水画 —アーネスト・フェノロサの美術理論の視点から—	井上 瞳	愛知学院大学
10:40-11:20	木村武山《阿房劫火》について —火焰と建造物の表現を中心に—	木澤 沙羅	茨城県天心記念 五浦美術館
11:20-12:00	鏑木清方《薄雪》(福富太郎コレクション資料室)について	花田 珠可子	福岡市美術館
昼休み			
13:10-13:50	昭和期の北野恒富に関する考察 —洋画研究と古典学習をキーワードに—	井上 ひかる	大阪公立大学
13:50-14:30	引揚げ後の加藤松林人と理想の「朝鮮」像	房 攸娥	大阪大学
14:30-15:10	植中直齋筆《日蓮聖人伝絵巻》について —最勝閣聖伝画の下絵との比較を中心に—	長嶺 勝磨	沖縄県立芸術大学
休憩			
15:30-16:10	企業家S. ビングの日本美術市場戦略 —アウグスト・ビング・アーカイブと 1870～1890年代新資料による—	園府寺 司	無所属
16:10-16:50	二十世紀初頭における色彩銅版画と画商、 シャルル・エッセル(1856-1931)	荒木 弘太郎	名古屋芸術大学
16:50-17:30	写真芸術の非個人性 —『カメラ・ワーク』におけるジャポニスムについて—	甲斐 義明	新潟大学

5/24
|土|

[2日目プログラム]

★受付 9:30 ～ 大阪大学会館

総会、『美術史』論文賞表彰式

講演会「〈美術〉史を超えて」

懇親会：カフェテリア「らふおれ」

*発表要旨集および配付資料は大会ウェブサイトから必ず事前にダウンロードください。会場のWi-Fi環境には制約があるため、会場内でのダウンロードは不可とさせていただきます。

会場：大阪大学会館・講堂

10:00-11:40 総会、『美術史』論文賞表彰式

13:00-17:00 当番校企画・講演会：「〈美術〉史を超えて」

13:00 挨拶・趣旨説明

13:05 モノを「評価」するということ
—刀剣・刀装具と大阪の近代工芸を例として— 内藤直子
大阪歴史博物館研究副主幹
専門は刀剣・刀装具および大阪の近代工芸。著書に『刀装具“超絶技巧”の源流』（淡交社、2017年）、『もっと知りたい刀剣 名刀・刀装具・刀剣書』（吉原弘道氏との共著、東京美術、2018年）など。

14:00 庭のかたちはどこにある？
—平安神宮神苑のフィールドワークから— 山内朋樹
京都教育大学教員、庭師
専門は美学。著書に『庭のかたちが生まれるとき』（フィルムアート社、2023年）、訳書にデレク・ジャーマン+ハワード・スーリー『デレク・ジャーマンの庭』（創元社、2024年）など。

14:50 休憩 20分

15:10 ナチ・ドイツにおける「戦争画」 石田圭子
神戸大学大学院国際文化学研究科教授
専門は美学・芸術論。著書に『美学から政治へーモダニズムの詩人とファシズムー』（慶応義塾大学出版会、2013年）、『ナチズムの芸術と美学を考えるー偶像破壊（イコノクラスム）を超えてー』（三元社、2023年）など。

16:05 イメージの力をさぐる
—アート（美術）と人類学の交点から— 吉田憲司
国立民族学博物館名誉教授
専門は博物館人類学、民族芸術学。著書に『文化の「発見」ー驚異の部屋からヴァーチャル・ミュージアムまで』（岩波書店、1999年）、『文化の「肖像」ーネットワーク型ミュージオロジーの試み』（岩波書店、2013年）など。

16:55 閉会挨拶

18:00-20:00 懇親会
豊中キャンパス・カフェテリア「らふおれ」*裏面に会場への地図を掲載しています。

5/25

[3日目プログラム]

★受付9:30～ 大阪大学会館

研究発表

*発表要旨集および配付資料は大会ウェブサイトから必ず事前にダウンロードください。会場のWi-Fi環境には制約があるため、会場内でのダウンロードは不可とさせていただきます。

分科会Ⅰ

会場：大阪大学会館・講堂

時間	発表題目	氏名	所属
10:00-10:40	狩野孝信の風俗画について ―「北野社頭遊楽図屏風」(個人蔵)を中心に―	千種 佳奈	神戸大学
10:40-11:20	《青海波図》の系譜 ―源氏絵の変化と徳川将軍家に関わる制作意図の検討―	メンダズ、トレバー Trevor Menders	ハーバード大学／ 大阪大学
11:20-12:00	朝鮮通信使に贈られた屏風にみる 近世やまと絵大画面の展開 ―古典主題の受容を中心に―	鄭 美娟	東京大学
昼休み ※事前申込者へお弁当の受け渡しがございます(大阪大学会館・受付にて)			
13:10-13:50	相阿弥「大仙院室中襖絵」再考 ―足利将軍家の障壁画制作の系譜―	柴山 祥羽	早稲田大学
13:50-14:30	大仙院方丈室中の山水図襖について ―画面構成に注目して―	萬年 香奈子	滋賀県立琵琶湖 文化館
14:30-15:10	狩野元信筆「四季花鳥図」(大仙院)について ―描かれた珍鳥―	渡野 りつ佳	大阪大学
休憩			
15:30-16:10	董其昌の筆墨表現を象徴する省力的運筆について	尾川 明穂	筑波大学
16:10-16:50	池大雅の「王維詩意図双幅」における長寿の象徴	李 田	早稲田大学

分科会Ⅱ

会場：シグマホール(基礎工学国際棟)

時間	発表題目	氏名	所属
10:00-10:40	ヘファイスティオン・フリーズの図像プログラムについて	小松 誠	フライブルク大学
10:40-11:20	通称《虎に乗るディオニュソス》モザイク(ナポリ国立 考古学博物館)をめぐる一考察 ―ポンペイ、「ファウヌスの家」の饗宴空間―	野々瀬 真理	東北大学
11:20-12:00	ブドウ畑の守護者たち ―ロレンツォ・ロット作スアルディ家礼拝堂装飾について―	森田 優子	東北大学
昼休み ※事前申込者へお弁当の受け渡しがございます(大阪大学会館・受付にて)			
13:10-13:50	フランチェスコ・プリマティッチョ《オデュッセウスと ペネロペイア》における古代美術の参照 ―人物像のポーズと身ぶりをめぐって―	町野 陽輝	東京藝術大学
13:50-14:30	エルネスト・メソニエの「顕微鏡視的絵画」とサロン戦略	西田 創	岐阜県美術館
14:30-15:10	ジョン・エヴァレット・ミレイの1860年代の対作品に おける視覚的相互作用とその展開	古賀 詩織	九州大学
休憩			
15:30-16:10	フランツ・マルク《動物の運命》における「動物化」理念と 実践 ―ヴォリンガーとの関連をめぐって―	福田 龍紀	東北大学
16:10-16:50	ヴィルヘルム・ハマスホイの室内画における同時代性 ―装飾と絵画の観点から―	矢橋 佳音	京都大学
16:50-17:30	ウォルター・リチャード・シッカート作《イングリッシュ・ エコー・シリーズ》を巡る批評 ―オメガ工房「模写と解釈」展を踏まえた視点から―	松崎 章人	パラミタミュー ジアム